Japanese Journal of Applied Psychology
2012, Vol. 38, No. 1, 82–83

2011年度第6回常任理事会議事録

日　　時：2012年3月4日(日) 15時15分～16時45分
場　　所：日本体育大学深沢キャンパス
　　5階中会議室
出 席 者：森下高治理事長，藤田主一副理事長
　　浮谷秀一，川本利恵子，大坊郁夫，田中真介，谷口泰富，田之内厚三，玉井寛，内藤哲雄，藤森立男，向井希宏，蓮花一己，濱　保久（大会委員長）
　　（以上14名）
欠 席 者：井上孝代
事 務 局：浮谷秀一（事務局長），佐藤恵美（幹事）

I　報告事項

1. 理事長より（森下理事長）
現常任理事としては最後の常任理事会になるので，理事長より挨拶と御礼の言葉があった。

2. 委員会報告事項

1）機関誌編集委員会（川本委員長）
・第37巻2号は原著1編，資料論文1編，短報2編の構成であり，4月に発行予定である。この号には第77回大会シンポジウムおよび，優秀大会発表賞の報告を含める予定である。
・本日の編集委員会で，次年度からの査読方法，補助者の短期雇用，査読者の登録と委嘱状，特集などについて検討を行った。

2）企画委員会（田之内委員長）
・2011年11月12日(土）に本年度の公開シンポジウム「“まさか！”の応用心理学―災害時はこうする―」を日本体育大学深沢キャンパスの記念講堂で開催した。現在，録音された内容を原稿に起こし，講演者に校正をお願いしている。7月を目処に機関誌編集委員会に提出する予定である。

3）広報委員会（藤森委員長）
・2011年12月に『応用心理学のクロスロード』第4号を発行した。
・今後の『応用心理学のクロスロード』は年1回の刊行とする。その他，メールニュースでの情報発信を検討している。

4）「応用心理士」認定審査委員会（玉井委員長）
・2011年度後期の「応用心理士」申請者は3名であり，審査の結果3名を合格とし，認定の手続きを進めている。

5）国際交流委員会
（内藤委員長，蓮花副委員長）
・国際交流委員会が担当している国際応用心理学会の英文特集号の編集作業を進めており，ほぼ査読が終了している。現在28本中2本が修正審査中であるが，3月までには機関誌編集委員会に引き継ぐ予定である。2012年度中の発行を予定している。

6）若手研究者支援委員会（蓮花委員長）
・若手研究者への支援は，第79回大会から事前申し込みのみとする予定である。

7）学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）
（藤田委員長）
・昨年度の優秀大会発表賞の結果を学会ホームページに掲載した。第79回大会でも優秀大会発表賞を選考するので，その旨を広報をしていく予定である。

8）選挙管理委員会（浮谷委員長）
・審議事項で取り扱う。

3. 2011年度第78回大会について
（内藤大会委員長）
・別紙の決算書を示して報告を行った。余剰金535,486円を学会の若手育成基金に寄付する。

4. 2012年度第79回大会について（濱大会委員長）
・2012年9月21(土)・22日(日）に北星学園大学（札幌）で開催する。
・第79回大会から，若手支援のためのブースは置かず，事前申し込みの手続きのみとするので，その準備を進めている。

5. 日本心理学諸学会連合理事会報告
（谷口担当常任理事）
・2011年12月23日に定例理事会が開催された（別紙配布）。

II　審議事項

1. 役員選挙に関する件（浮谷選挙管理委員長）
・昨年12月の常任理事会において推薦理事9名を選び，新理事36名が確定した。
・2012年1月に郵便による常任理事選挙を行い，

2月13日に開票した。その結果，新常任理事9名が確定した。3月4日に新常任理事9名が出席して理事長選挙の投票を行い，藤田主一新理事長および谷口泰富新副理事長を選出した。以上の選挙結果の報告について承認された。

2. 名誉会員推戴に関する件（浮谷事務局長）

・名誉会員の推戴は2011年度末までに満70歳になられた会員を対象として選出される。今回の該当者10名のリストが示された。昨年度理事に就任中のために辞退された会員も含まれる。次年度の常任理事会で決定する。

3. 理事長諮問委員会からの提案に関する件

（藤田副理事長）

・理事長諮問委員会での1年半の成果について報告がなされた（別紙配布）。

（1）会費は，当面は現状のままとする。

（2）理事，常任理事の選挙方法については，今回の選挙より改正し滞りなく実施された。

（3）国際応用心理学会参加者への助成については，新しい方法を検討していく。

（4）紙媒体のニューズレターではなく，電子版メールニュースで学会情報を発信していく。

（5）「応用心理士」を対象とした研修会の実施，ポイント制や資格更新制の導入を検討する旨の追加説明が玉井委員長よりあった。次年度も継続的に検討していく。

（6）『応用心理学のクロスロード』は，財政を考慮して，次年度以降は年間1号の発刊とする。

（7）今回の選挙結果はメールニュースで配信する。

（8）学会ホームページがリニューアルされた。

（9）優秀大会発表賞は，第77回大会より導入され，次年度の第79回大会でも実施する予定である。

（10）大会時の研修会や公開シンポジウムの講師謝金の見直しについて，今後検討していく。

（11）日本心理学会など他学会と積極的に交流していく。

（12）第80回大会の区切りとして，学会企画書籍を発行する予定である。

4. 新入会員審査および会員異動に関する件

（浮谷事務局長）

・メール会議で承認されている申請者を含めて下記の15名の申請者について審議し，全員の入会を承認した。

宮下芙美子，深田邦子，鈴木智子，藤本　要，佐藤佑貴，金　娟鏡，光富　隆，飯尾知美，山本雄大，大村美菜子，伍井和夫，澤　拓哉，岡部康成，市川優一郎，中林亜衣

・2012年2月29日現在，正会員1,147名，名誉会員38名，終身会員35名，学生会員8名，賛助会員3名，合計1,231名である。

5. その他

・浮谷事務局長より，東日本大震災支援助成補助金は，1月に振り込み済みであるとの説明があった。この助成補助金に関わる報告書を，3月31日までに提出してもらい，メールニュースや『応用心理学のクロスロード』などで，報告書の概要を掲載していく予定である。

・次回の常任理事会は，新体制で2012年4月8日に開催予定である。